ねんきんだより Pensions News

年金生活者支援給付金制度について

年金生活者支援給付金は、年金受給者の生活を支援するために、年金に上乗せで支給されるものであり、公的年金などの収入やその他の所得額が一定の基準以下であることが条件です。受け取りには請求書を提出する必要があります。

対象者　老齢基礎年金受給者
要件・６５歳以上であること
・世帯員全員が市町村民税が非課税であること
・年金収入額とその他の所得額の合計が約８８万円以下であること

対象者　障害基礎年金･遺族基礎年金受給者
要件　前年の所得額が約４７２万円以下であること

■請求手続き
○　日本年金機構から、年金生活者支援給付金を受け取る資格があるかたに対して通知が送られています。同封のはがきに記入し、令和６年１月４日までに手続きを完了させると、令和５年１０月分からさかのぼって受け取ることができます。
○　年金を受給しはじめるかたは、年金の請求手続きと併せて年金事務所または市区町村で請求手続きをしてください。
問合せ：給付金専用ダイヤル
☎０５７０-０５-４０９２（ナビダイヤル）

問合せ　太田年金事務所 ☎４９－３７１６

消費トラブルにご注意！

旅行予約サイト 申込み前によく確認！

【事例】
旅行予約サイトで、３週間後に出発の国内旅行ツアーを申し込んだ。前日に「１人４万５千円」という広告を見てブックマークしておき、翌日、その広告サイトから、申込みを完了した。その後、旅行代金を確認すると「１人６万円」に変わっていた。すぐにキャンセルしたが、キャンセル料１万２千円を請求された。申込み前に確認画面も表示されていたが、よく確認せずボタンを押してしまった。すぐキャンセルしたので、キャンセル料は何とかならないか。
（６０歳代 女性）

【ひとこと助言】
旅行予約サイトで予約する場合は、店舗での予約と異なり、対面で説明を受けることができません。消費者は申込み完了前に契約条件や予約内容を十分に確認したうえで契約する必要があります。
解約や内容変更などに関する条件は、原則契約内容にしばられ、申込み完了後に入力ミスに気づいても、無条件で解約・変更ができません。申込みを完了する前に旅行日程などの予約内容が正確に入力されているかよく確認しましょう。
申込み時の予約内容が確認できる画面や契約後に送付される予約確認メールなどは、旅行が終わるまでスクリーンショットや印刷をして保管しましょう。

相談は消費生活センターまで　☎８２－７８３０（ナヤミナシ）

休日当番医

期日	内科系		外科系	耳鼻科
10月１日（日）	後藤内科医院 ７２－０１３４	真中医院 ７２－１６３０	堀井乳腺外科クリニック ５５－２１００	板倉耳鼻咽喉科クリニック ８０－４３３３
10月８日（日）	県西在宅クリニック舘林 ５５－３８１８	こやなぎ小児科※ ８０－２２２０	田沼整形外科医院 ８８－９２２３	－
10月９日（祝）	蜂谷病院 ６３－０８８８	藤原医院 ８８－７７９７	ふじの木整形・内科クリニック ９１－４０７０	－
10月15日（日）	福田ペインクリニック ８４－１２３３	神尾内科医院 ７５－１２８８	高木整形外科 ６２－６６１１	川田耳鼻咽喉科医院 ７２－３３１４
10月22日（日）	ましも内科・胃腸科 ６２－２０２５	うえの医院 ７２－３３３０	井上整形外科医院 ８２－１１３１	－
10月29日（日）	高橋クリニック ７５－７７７２	堀越医院 ７３－４１５１	慶友整形外科病院 ４９－９０００	－
11月３日（祝）	大泉町泌尿器科内科 ６３－７８００	星野こどもクリニック※ ７０－７２００	新橋病院 ７５－３０１１	－
11月５日（日）	寺内医院 ８８－１５１１	阿部医院 ６２－５４２８	小曽根整形外科 ７２－７７０７	川村耳鼻咽喉科医院 ７２－１３３７

歯科	
館林邑楽歯科保健医療センター ７３－８８１８ 午前９時～正午	◆緊急　公立館林厚生病院（内科系･外科系）　☎７２－３１４０ ◆コロナに関すること　館林保健福祉事務所 ☎７２－３２３０（平日午前８時30分～午後５時15分） 群馬県新型コロナウイルス感染症受診相談センター　☎０５７０－０７０－５６７（館林保健福祉事務所の受付時間外） ◆夜間　館林市夜間急病診療所（内科･小児科）午後７時～10時（日･祝、年末年始除く） ☎７３－２３１３（要受診前電話連絡）

●診療時間は、午前９時～午後５時（ただし、耳鼻科の診療時間は、午前９時～午後１時）
●内科系の※は、小児科のみとなります。　●受診前に必ず医療機関に電話で確認してください。●高木整形外科は、午前中のみの診察となります。
●救急テレホンサービス　☎７３－５６９９：受診可能な病院を紹介しています。

Face フェイス

音楽が心に近づくお手伝いをしたい

ピアノ演奏は小さな達成感の積み重ね

横塚優美さん

よこつか　ゆうみ　27歳
大字籾谷出身

得意料理は豚汁。
毎週、さいたま市から通い、実家のピアノ教室でレッスンを担当しているそうです。
〇第18回ＰＩＡＲＡピアノコンクールシニア部門第１位
〇12月23日㈯邑楽町中央公民館「邑の森ホール」演奏会出演予定。詳細は下記
URL https://www.ora-ph.jp/

物心つく前から身近に音楽が

取材前には緊張した面持ちだった横塚さん。写真撮影のためにピアノ演奏をお願いすると、弾き始めた瞬間、凜とした自然な優しさに包まれました。
ピアノ教室を主宰する母の影響で、物心つく前から音楽が身近な存在。６歳の頃、母と連弾したディズニーの「小さな世界」は、今でも心に残る大切な曲だそうです。

小さな成功の積み重ね

中学生の頃には音楽の道に進むことを決め、埼玉県の音楽科のある高校に進学。音楽大学、大学院と進む中で、数々のコンクールで入賞を果たしていきます。
ピアノはどこまでも続く反復練習。やめたいと思ったことはありますかという問いに「無いですね。練習は大変ですが、ある部分がさっきよりよくなった気がするとか、本当に小さな達成感かもしれませんが、一つ一つを積み重ねることを大切にしています」と答えてくれました。また、いつも演奏活動に寄り添ってくれる母への感謝も口にしていました。

共演で芽生えた新たな喜び

コンクールでは自分の表現を心がける一方、２年前の館林市民オーケストラとの共演では、他の楽器と合わせる楽しさや音の厚みなど、新たな喜びも感じた横塚さん。今後は、近隣の演奏家のかたがたと協力して、音楽に親しみを持ってもらえるような企画にも挑戦していきたいそうです。

身が入らないときは熟成期間

自らのピアノ人生が順調なときばかりではなかったということで、生徒さんにも寄り添っていきたいと語ってくれました。「練習に身が入らないときは熟成期間」との言葉のとおり、ポジティブでおちゃめな素顔も見せてくれました。

レポーター
広報編集委員
柏崎祐子（かしわざきゆうこ）